

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンステップスマイル徳延教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 3月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年 3月 6日		2026年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	配置職員数を基準よりも多くしているため、手厚い支援を行うことができている。児童発達支援は、ほぼマンツーマンで対応している。	個別療育と、小集団療育の両方を実施していること。一人一人に合わせた支援が可能となっていること	さらなる質の高い支援のために、年齢ごと、特性ごとに合わせた支援内容の見直し
2	保育士中心の療育プログラムにより、少人数制を採用し一人ひとりに目が行き届く支援体制を整えている。	保育士たちによる、遊び・社会性・集団適応をテーマに「楽しみながら身につける支援」を行っている。自己肯定感と安心感を大切に支援に取り組んでいる	保育士ならではの、社会性トレーニングプログラムの作成をすすめていきたい
3	・保護者様への、日常の様子の発信 ・SNSのブログなどを活用し、情報発信をしている。	・LINEを活用し、写真や動画の発信を毎日行っている ・定期的にブログの更新をしている	・送信枚数や内容の見直し ・プライバシーに対する配慮の強化

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	課外活動	当教室の療育プログラムに関して課外活動の必要性が少ない。安全面や男性職員確保の観点から、実施回数は少なくなっている	利用者(児)の安全を確保しながら、外に出て行える活動も検討していく
2	地域との連携の機会	市や一部の相談支援事業所などとは連携を図っているが、地域住民とのコミュニケーションをとる機会は少ない。	日常の中での関りを重視し、関係が深めていける内容を検討していく
3	保護者支援体制の体系化	日常の家族支援や、保護者会の企画・実施は行っているが、機会が少ない	・イベントの企画・実施 ・家族支援を活用いただける旨の周知